

著者紹介

磯村 思无 Isomura Shin

愛知県衛生研究所長。医学博士。昭和36年3月名古屋大学医学部卒, 41年同大学大学院医学研究科小児科学専攻修了, 同年名古屋大学医学部小児科副手, 51年同講師, 60年同助教授, 61年愛知県衛生研究所ウイルス部長, 62年同所長。専門分野: 小児科領域の感染症の疫学調査と予防接種。日本小児科学会, 日本ウイルス学会, 日本感染症学会。

加藤 活大 Kato Katsumoto

愛知県厚生連加茂病院内科部長。医学博士。昭和42年3月名古屋大学医学部卒, 49年3月名古屋大学大学院医学研究科(第二内科)終了, 医学部副手, 助手を経て50年11月厚生連加茂病院消化器科医長, 55年4月同院内科部長, 56年4月より名古屋大学医学部非常勤講師併任。専門分野: 内科学(とくに肝臓病学)。日本内科学会, 日本消化器病学会, 日本肝臓学会。

横江 清司 Yokoe Kiyoshi

スポーツ医・科学研究所診療部長。昭和49年3月名古屋大学医学部卒業, 54年1月アメリカペンシルベニア州立大学留学, 55年1月関東労災病院スポーツ整形外科, 62年7月スポーツ医・科学研究所主任研究員, 63年6月同診療部長。専門分野: スポーツ整形外科学(ランニング障害)。日本整形外科学会, 日本整形外科学会スポーツ医学会, 日本体力医学会。

野村 恒 Nomura Hisashi

名古屋市立東市民病院小児科部長。医学博士。昭和37年3月名古屋大学医学部卒業, 38年4月名古屋市立大学医学部小児科学教室入局, 40年4月名古屋市立東市民病院小児科, 44年4月同副部長, 53年8月同部長, 54年4月名古屋市立大学医学部非常勤講師。専門分野: 新生児感染症をはじめとする小児感染症。日本小児科学会, 日本新生児学会, 日本感染症学会。

岡田 達郎 Okada Tatsuro

「明日の臨床」編集委員長, 愛知保険医協会社保学術部部長, 岡田病院長。医学博士。昭和33年3月岐阜大学医学部卒, 社会保険中京病院にてインターン修了, 34年4月名古屋大学医学部第一外科学教室に入局, 大学の命により常滑市民病院外科勤務, 40年9月より医学部において腫瘍学の研究をする。43年1月博士号を授与される, 43年6月磐田市立病院外科医長となる, 45年12月岡田病院を開設。専門分野: 担癌宿主における抵抗性について。日本外科学会, 日本癌学会, 日本皮膚科学会。

山口 晃弘 Yamaguchi Akihiro

大垣市民病院外科医長。医学博士。昭和42年3月名古屋大学医学部卒業, 43年8月愛知県済生会病院, 48年4月名古屋大学第1外科, 51年12月藤田学園保健衛生大学外科講師, 55年1月大垣市民病院外科医長。専門分野: 消化器科学(とくに消化器悪性腫瘍と腹部救急疾患の治療を中心に), 内分泌外科学。日本外科学会, 日本消化器外科学会, 日本癌治学会, 日本内分泌外科学会。

丹羽 傳 Niwa Tsutou

豊川市民病院外科第一部長。医学博士。昭和43年3月名古屋市立大学医学部卒, 43年4月名古屋市立大学第二外科教室入局, 51年2月名古屋市立城西病院外科副部長, 56年4月豊川市民病院外科第一部長, 現在に至る。専門分野: 消化器外科一般。日本外科学会, 日本消化器外科学会, 日本臨床外科学会。

竹中 優夫 Takenaka Shizuo

医療法人名南会理事長。医学博士。昭和27年3月名古屋大学医学部卒, 28年4月名古屋大学第二外科入局, 34年6月公共済東海中央病院外科, 37年1月千田病院, 42年4月名南外科診療所(18床)開設, 49年7月名南病院(24床)60年5月理事長。専門分野: Congenital Megacolonの臨床, 門脈圧亢進機序, 手・指の外科, 現在“地域外科学”を提唱。日本外科学会, 東海手の外科カンファレンス。

松本美富士 Matsumoto Yoshifuji

名古屋市立大学医学部附属病院輸血部(第2内科)助教授。医学博士。昭和43年3月名古屋市立大学医学部卒業, 47年3月名古屋市立大学大学院医学研究科(内科学専攻)修了, 47年4月愛知県常滑市民病院内科, 49年1月名古屋市立大学医学部第2内科助手, 54年5月同講師, 56年同附属病院輸血部助教授, 58年10月愛知医科大学第2内科学非常勤講師兼任。専門分野: 膠原病準リウマチ性疾患の臨床免疫学的研究, リウマチ性疾患の臨床疫学的研究。日本内科学会, 日本リウマチ学会(評議員), 日本アレルギー学会(評議員), 日本臨床免疫学会(評議員)。